

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市梅園学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字4丁目12番地4
施設規模	敷地面積：2,377.77㎡ 建物面積：314.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市梅園学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字4丁目12番地4 代表者：委員代表 渡邊 喜則
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等に利用施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	施設周辺の枯草の清掃をした。消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年11月4日 2回目 " 5年3月19日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心がけた。又、新規利用の受け入れに対応に利用マニュアルを作成した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

〔学区公共団体の利用の兼ね合いを調整し、なるべく定期利用団体の利用が出来るようにした。スリッパなどは購入し、清潔に利用できるようにした。〕

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
3,967	2,988	724	7,080	317	2,588						
利用合計						回数		人数			
						1,437		12,656			

## (2) 利用状況に対する自己評価

次月の利用予定表を提示し、とひこみ利用の申請を  
しやすくした。結果、なるべく空いてる部屋の利用ができた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	11,905
収入 計 (A+B)			809,905
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	681,542
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	121,110
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	7,253
支出 計 (C+D+E)			809,905
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

・必要の消耗品を必要のだけ購入できた。  
・和室入り口の壁紙の貼り替えが安くできてよかった。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

スリッパ入れを追加購入し、僅かばかりで収納できる所、  
にしたら。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

新規利用の団体にも希望日時に行えるように添えるよう  
調整した。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

毎月のお掃除の時にきさくに意見を頂き、ありがたかった。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市根石学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市元欠町3丁目20番地
施設規模	敷地面積：653.00㎡ 建物面積：317.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市根石学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市元欠町3丁目20番地 代表者：委員代表 大島 一嗣
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見廻り等により、施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品等を適切に補充
	防火管理	必要書類等を提出。消防訓練を実施。 防火管理者変更手続き
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月10日 2回目 令和5年2月12日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率向上
	書類・諸帳簿の管理	必要書類等を提出。適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者への要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
336	2,150	646	6,940	48	392						

利用合計	回数	人数
	1,030	9,482

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・女子トイレの和式が洋式に改良され、利用・管理が向上された
- ・福祉委員会の協力により、1・2階女子トイレに暖房設備課設置された
- ・常に設備の管理、保守、利用状況の把握、管理運営に努めた

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	222,759
収入 計 (A + B)			1,020,759
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	876,398
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	115,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	29,361
支出 計 (C + D + E)			1,020,759
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設、設備等の管理・修理、事務用品等の購入等行い、適切に費用をあて運営
- ・女子トイレの改良に伴い、コンセント設備工事を行った (増設)
- ・屋外活動、諸行事や非常時防災活動用にパイプテントを確保した

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者のみみんなが気持ちよく利用できるように、使用後の片付け、適宜掃除協力を呼びかけて、清潔な環境づくり保持に努めた

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者、管理者相互の連絡、意見箱を設置し、相互の意見把握に努めた
- ・利用者、諸団体との会議等により、管理調整、運営に努めた
- ・利用者、諸団体とのコミュニケーションと図り、要望、ニーズの把握に心掛けた

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者等の意見、連絡事項には、適宜適切な対応に努めた
- ・ルール、マナーの違反者、利用者には適宜注意、連絡等理解に努めた
- ・今のところ苦情等はないが、今後も適宜適切な管理運営に心掛けていきたい

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市井田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字後田 19 番地 5
施設規模	敷地面積： 1,779.95 m <sup>2</sup> 建物面積： 466.06 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市井田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字後田 19 番地 5 代表者：委員代表 中根 正和
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 6月13日 2回目 12月12日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まらうよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に掛り、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
164	1722	555	6748	264	1876	137	647	266	3496	10	60
利用合計				回数				人数			
				1,396				14,549			

## (2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施。使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	34,126
収入 計 (A + B)			927,126
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	758,467
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	167,750
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	909
支出 計 (C + D + E)			927,126
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理(畳と一部交換済)事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに務めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者へ、ご意見箱に記入、投函された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市愛宕学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市伊賀町字5丁目121番地2
施設規模	敷地面積：624.52 m <sup>2</sup> 建物面積：307.44 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市愛宕学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市伊賀町字5丁目121番地2 代表者：委員代表 水野 達
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないよう確認をした。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、清掃具を補充した。利用者、利用団体が定期的に掃除を行った。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年9月8日 2回目 令和4年12月28日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い、施設の利用率が高まるようにした。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応や収支状況の把握をし、円滑な運営と管理ができた。
- ・利用者からの要望の高かった量の張替え交換を実施し、円滑な運営管理ができた。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
99	689	430	4,719	164	979						
利用合計						回数		人数			
						693		6,387			

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用団体と使用日時の確認を行い、時間調整も実施し利用率の向上を心掛けた。
- ・利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	660,703
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	126,720
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	10,577
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・管理費、修繕費を適切に充て収支運営をすることができた。
- ・畳の交換等を実施し修繕費を超過したが、他の支出内容を精査して収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者に使用後の整理と清掃をお願いし、清潔な環境づくりに努めた。
- ・体温測定や手指消毒、部屋の換気を呼びかけ感染防止対策を心掛けた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用団体と会議を開催し、ニーズ把握を心掛けた。
- ・利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・マナーやルール違反の利用者には、注意をして理解してもらえるよう努めた。
- ・利用者の意見に耳を傾けて、今後も適切に管理運営を心掛けたい。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市広幡学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市広幡町 11 番地 12
施設規模	敷地面積： 907.76 m <sup>2</sup> 建物面積： 315.11 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市広幡学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市広幡町 11 番地 12 代表者：委員代表 加藤 吉郎
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況      業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見則等により、施設に異常がないか、日々確認計。
	通常清掃業務	各部屋、共用スペース、トイレ、庭等、日々清掃し、常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充計。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施計。避難経路図に基づき、避難方法、非常警報設備等の説明を計。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月31日 2回目 令和4年12月4日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が向上するよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

### (2) 事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。  
 ・目の施設点検を確実に計。雑音除去、排水掃除、庭の草刈、落ち葉清掃、樹木の枝払い  
 ・当施設の特色である自然を大切に計。安全、快適な環境を整え、円滑な運営と管理ができた。

### 2 施設の利用状況

#### (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
174	1382	539	6035	276	2230						
利用合計						回数		人数			
						989		9647			

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用スケジュールを圖書室ホストに照会、空き状況をわかりやすく、利用受けや時間調整等をスピーディに実施し、利用率の向上を心がけた。  
 ・運営委員会及び利用団体の使用状況やスケジュールを運営委員会委員や利用団体メンバーに必要に応じて報告し、使用日時の変更調整を実施し、希望に充てた利用率の向上に心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	568
収入 計 (A + B)			798,568
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	690,118
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	128,450
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,568
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品、消毒液等の購入に適切に費用を充て、収支差額をカバーできた。  
 ・敷石の補強やカーテン取替修繕等を行う、修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより、収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、毎朝、机やドアノブ等の消毒清掃、施設全般の清掃を実施し、使用後の適度な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりをした。  
 ・施設及び機器の利用や安全確認に関して、わかりやすく記した書面や看板を作成した。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズを把握するよう心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・今迄の苦情はないが、会議や対話等により、利用者とのコミュニケーションを深め、今後苦情のないよう適正な管理運営を心がけた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市連尺学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市魚町1丁目4番地
施設規模	敷地面積：1,001.58㎡ 建物面積：315.00㎡
指定管理者	名称：岡崎市連尺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市魚町1丁目4番地 代表者：委員代表 辻村 信治
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	・日常業務で各施設のイエックの点検・不備場所の処置
	通常清掃業務	・清潔に努め特にコロナ対策を重点に実施
	防火管理	・点検と必要書類の提出・定期訓練の実施と反復
	消防訓練実施日	1回目 2022.12.26 (中止) (コロナ対策で) 12/22 2回目 2023.02.26
施設運営に関する業務	利用関係業務	・利用団体との調整を実施管人みな平等に使用できる様に努めた。
	書類・諸帳簿の管理	・予定表・使用後の確認を実施し不備な団体にはフォローを実施再発防止に努めた。

(2) 事業実施に対する自己評価

〔 新型コロナ対策を重点に各利用者に協力をもとめた。一部には不便をも存在するが協力を得て大きな問題もなく運営出来た。 〕

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
308	2436	586	9916	384	3492						
46	61	5	3	11	12						
利用合計						回数		人数			
						1,278		15,844			
対年比						15%増		11%増			

対前年比  
(%)

## (2) 利用状況に対する自己評価

- 対前年比 全体で回数=15%増、人数=11%増。
- コロナ対策を十分に実施し特に問題なく多くの人に利用してもらい良好であった。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入 前年度繰越金	273,116
収入 計 (A + B)			1,071,116
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	662,954
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	122,220
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	285,942
支出 計 (C + D + E)			1,071,116
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- 利用者の要望も日常管理(特にコロナ対策)を確実に実施し修繕もトイレ水場の小改善と省エネの為に照明器具もLED化を实施了。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 総合的に利用者から気持ちよく使用出来る様に努めた結果特に問題はなく良好と判断した。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- 希望事項はその都度対応し、問題はなかった。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- 苦情ではなく希望事項を対応した。
- 次年度はコロナも終息の感があり、当ホムの有効活用にも努める

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六名学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市六名南一丁目2番地1.....
施設規模	敷地面積： 1,162.88㎡ 建物面積：485.35㎡
指定管理者	名称：岡崎市六名学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市六名南1丁目2番地1..... 代表者：委員代表 伊藤 公一.....
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認を行う。
	通常清掃業務	建物、敷地内外を清掃し、常に清潔な状態を保ち消耗品は適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年8月3日 2回目 令和5年1月25日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行ない、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	定期の報告、必要書類の期限内提出を行い、書類等は適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。
- ・図書室の暖房用灯油ストーブを買い替え、2年継続事業にした研修室の照明LED化により利用者の環境改善を図った。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
13	98	403	4,999	81	534	186	986	250	2,863	192	1,397
利用合計				回数				人数			
				1,125				10,877			

## (2) 利用状況に対する自己評価

・本館、別館に区分し、年間の空室日、空室時間が一目で確認できる利用状況表を掲示して利用者の利便を計った。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	30,450
収入 計 (A + B)			923,450
出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	629,488
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	268,286
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	25,676
支出 計 (C + D + E)			923,450
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

・修繕費を充実させて大研修室のLED化を2年継続事業にして完了する。明るく球取替えなどの軽減化を図り、利用者の利便化に努めた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用日時間変更などの要望を柔軟にして利用者の便宜を図る  
・気持ち良く利用できるよう美化活動の協力を呼びかけ、環境づくりに努める。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用団体代表者会議を行い、利用規定、心得を説明し積極的にニーズ把握を心がける。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

・マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行ない理解していただく。  
・コミュニケーションを図り、気持ちよく利用して頂けるよう管理運営に努めた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市三島学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市明大寺町字池上 28 番地 2
施設規模	敷地面積： 934.02 m <sup>2</sup> 建物面積： 323.30 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市三島学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市明大寺町字池上 28 番地 2 代表者：委員代表 都築 栄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	夏回り等に対し、施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適宜に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月3日 2回目 令和4年12月11日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用1号「学びの場」を活用し、利用者の要望への対応に心掛けると共に、収支状況の把握に努め、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
116	956	444	4173	209	1873						
利用合計						回数		人数			
						769		7002			

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・運営委員会と利用団体との定期会議を実施。コロナ対策等の周知・確認をシフト、利用率の向上を心掛けた。  
 ・機関紙、市民ホームだより「学正の絆」の発行を通し、利用促進に係るPRを行うことができた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	60,405
収入 計 (A+B)			858,405
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	627,548
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	220,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	10,857
支出 計 (C+D+E)			858,405
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- 施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営を  
 行うことができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 勤務初年度ということもあり、利用団体の要望の調整に腐心した。  
 利用状況の問題点の改善への努力について、市民ホームだよりを発行して紹介した  
 ところ、利用者の意識がかなり前向きになってきたように思う。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- 利用者ート、機関紙の発行を通し、利用者とのコミュニケーションが緊密  
 になるところになった。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- 日常の点検により、異常を素早くキャッチすることを心掛け、早目に対応することが  
 できた。利用団体間の希望日程の調整が目下最大の努力事項となっているので  
 年間活動予定表を掲示板付近に、1年分をポスターに記入して吊し、常時利用状況  
 が確認できるようにした。効果が楽しめた。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜美丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市竜美台1丁目5-2
施設規模	敷地面積：...894.73㎡ 建物面積：310.32㎡
指定管理者	名称：岡崎市竜美丘学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市竜美台1丁目5-2 代表者：委員代表 鈴木 聖也
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	毎日の見回りで施設の消灯と異常がないか確認した。
	通常清掃業務	学区在住者に有償清掃依頼し常に清潔な状態を保ち、手指消毒・除菌剤も含め消耗品の補充をした。
	防火管理	コロナ禍で訓練は実施できなかったが、防災講座は開催でき、運営委員と消火器・避難通路の確認をした。
	消防訓練実施日	1回目 R4.10.00 防災講座. 2回目 点検 7月・2月
施設運営に関する業務	利用関係業務	コロナ禍で、密にならないよう、適切な利用調整を行った。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ感染予防で利用を自粛する利用団体もあるなか、利用者の要望への対応や感染対策をして収支状況を把握し円滑な運営と管理が出来た。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
247	2009	674	6955	151	911						

利用合計	回数	人数
	1072	9875

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用スケジュールを玄関ボードに明記し空き状況をわかりやすくして、コロナ感染予防を掲示して利用向上を心がけた。
- ・利用団体からのメールやLINEには速やかに対応ができた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	366,423
収入 計 (A + B)			1,164,423
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	664,157
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	151,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	349,266
支出 計 (C + D + E)			1,164,423
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・コロナ感染予防の消毒剤を含め、消耗品購入など適切な収支運営することができた。
- ・修繕費が今年度も超過したが、前年度繰越金から収支の均衡を図ることができた。
- ・利用者団体での清掃ができなかったため、シルバー人材センターに依頼し、側溝清掃ができた。
- ・ガラス磨き・障子補修などは学区在住者に適時依頼できた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、書面設置もして清潔な環境作りに務めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者ノートを設置して、ニーズ把握を心掛けた。
- ・コロナ禍で利用者団体会議が開催できなかったが、電話・メール・LINE等でコミュニケーションを図った

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者ノートに記入された内容については、速やかに対応した。
- ・マナー・ルール違反の利用者については、注意を行い、理解をしていただいた。

※事業報告書と併せてご提出をお願いします。)

令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐南学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市田口町字岩本 10 番地 1
施設規模	敷地面積： 639.73 m <sup>2</sup> 建物面積： 227.01 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市常磐南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市田口町字岩本 10 番地 1 代表者：委員代表 深田 政昭
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1. 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見廻り等を実施、施設の異常が早期に発見された。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保持、消耗品の適切な補充を行った。
	防火管理	必要書類を提出した。
	消防訓練実施日	1回目 R4.7.12 2回目 R5.3.19
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用調整を行い、利用率が高まるための対策を行った。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切な記録管理を行った。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支把握し、円滑な運営管理を行った。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
75	700	395	5680								
利用合計						回数		人数			
						470		6380			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用団体と打合せを、使用目的を調整して  
利用の向上を行なった。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A+B)			751,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	497,781
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	171,154
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	82,068
支出 計 (C+D+E)			751,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、  
収支運営する事ができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるように、使用後の清掃  
を徹底し、清潔な環境づくりを努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者を積極的に行き回り、  
ニーズを把握して

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナーやルール違反の利用者に連絡し、  
改善をお願いした。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐東学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市米河内町字松森 8 番地 3
施設規模	敷地面積： 969.91 m <sup>2</sup> 建物面積： 218.36 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市常磐東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市米河内町字松森 8 番地 3 代表者：委員代表 山本 正道
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、防火管理の徹底をさせた。
	消防訓練実施日	1回目 8月19日 2回目 2月24日
施設運営に関する業務	利用関係業務	コロナ禍に伴い、通称利用調整を行い、施設の利用率が上がるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

施設内・外周辺の環境整備に心掛け、そのなりに運営管理ができた。  
利用者の要望への対応も収支状況の把握を心掛け、円滑な管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
55	328	87	873	2	2						
利用合計						回数		人数			
						144		1203			

## (2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記した。  
 ・当日の利用者には、名簿のチーム名と時間を表記して向かさせていた。  
 利用

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	67,859
収入 計 (A + B)			818,859
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	657,375
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	132,088
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	29,396
支出 計 (C + D + E)			818,859
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、購入等適切に費用を充て収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・気持ちよく利用できるように、使用後はモップにて清掃をさせていた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者とのコミュニケーションを図り、ニーズ把握に心がけている。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

・今の所苦情はないが、解錠時間のいっばいになってしまっている。  
 それ以来  
 余裕を持って解錠には、気を付けている。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市滝町字南谷 34 番地
施設規模	敷地面積： 1,691.91 m <sup>2</sup> 建物面積： 315.22 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市常磐学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市滝町字南谷 34 番地 代表者：委員代表 中根 守久
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	外灯の電球の取替。その他特になし、トレ誌があり、対応に記載した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を維持している。
	防火管理	消防訓練の実施、日々の点検を実施している。
	消防訓練実施日	1回目 3/14 2回目 3/25
施設運営に関する業務	利用関係業務	床が滑、たいてい雨後の入居を施工に頼んだ。
	書類・諸帳簿の管理	適切に管理している。

(2) 事業実施に対する自己評価

床滑りの対応、電灯修理、傾きの泥取り、落葉のそえ、樹木管理、トレ等の清掃、その他業務も適切に実施した。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
180	1799	294	3630	16	122						

利用合計	回数	人数
	496	5551

## (2) 利用状況に対する自己評価

2ヶ月分の予定表をボードに貼り、空室の状態を利用者に解りやすくし、利用促進をはかっている。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	160,622
収入 計 (A + B)			958,622
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	632,145
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	165,880
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	160,597
支出 計 (C + D + E)			958,622
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

電灯等の修繕費の支出が少なくなったが、特に問題はなかった。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

コロナの為の除菌剤を絶やさないようにした。  
駐車場の外灯の電球を替え、夜間明るくした。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

防火訓練等で各テナントとコミュニケーションをとっている。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

“床が滑る。”との苦情が有り、市と協議に対応した、結果良好。



## 令和 4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市 羽根学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市羽根町字池脇26番地3
施設規模	敷地面積 : 1,115.91㎡ 建物面積 : 431.17㎡
指定管理者	名称 : 岡崎市羽根学区市民ホーム運営委員会 所在地 : 岡崎市羽根町字池脇26番地 代表者 : 委員代表 川淵 啓治
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間 : 令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	利用者の協力を得て、常に清潔な状態を保ち、また消耗品を適切に補充した。
	防火管理	消防訓練、通報訓練の実施と消防署への必要書類の提出
	消防訓練実施日	1回目 令和4年9月8日(木) 2回目 令和5年2月19日(日)
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、円滑な利用状態につとめた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類の提出、また保管期間を〈5年間〉定め、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・毎月の利用状況を月次報告書にまとめている。
- ・運営委員会で報告し、円滑な運営・管理をおこなっている。

## 2 施設の実施状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
233	2,394	542	7,230	264	3,068	113	1,141	—	—	230	1,253
利用合計						回数		人数			
						1,382		15,086			

## (2) 利用状況に対する自己評価

高い利用状況のため、ホワイトボードの利用状況板に、2~3週間先の利用状況を明示し、重複利用の発生が生じないように努めた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		893,000
	その他収入(B)	雑収入	70,262
収入計(A+B)			963,262
支 出	管理運営費(C)	人件費、管理費、	498,186
	修繕費(D)	修繕費 *精算項目	187,440
	その他(E)	修繕費返還金、繰越金等	277,636
支出計(C+D+E)			963,262
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

本年度は、事務長補佐が退任したため、人件費分が余った。また2階のベランダの塗装剥がれが雨漏りの原因になるため、極力出金を抑え来年度の修繕に回すように繰越金を多く残した。

## 4 その他の自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者のコロナウイルス感染防止のため、手・指洗浄用のアルコールを玄関の受付に設置

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートおよび利用者団体との会議を通してニーズの把握と対応可能なものへの即対応を心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

即対応可能な苦情には、対応しているので問題ないと思う。ただし、大ががりの設備や建物の改善は課題と認識している

課題 ①建物の外壁塗装が薄汚れている ②蛍光灯の球切れが多く【設置してから古い】  
取替が増加…LED電球に切り替えてほしい。③階段と2階の壁面側に手すりをつけてほしい。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市小豆坂学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市戸崎町字藤狭 13 番地 16
施設規模	敷地面積： 1,549.41 m <sup>2</sup> 建物面積： 319.50 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市小豆坂学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市戸崎町字藤狭 13 番地 16 代表者：委員代表 平位 壽雄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がつかないことを確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 令和4年10月6日 2回目 令和5年3月16日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が向上するように心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者への要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
151	845	377	4,090	167	1,008						
利用合計						回数		人数			
						695		5,943			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ホストに明記  
 客室状況をわかりやすくし 利用率の向上を心掛けた

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	12,449
収入 計 (A + B)			810,449
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	686,811
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	111,197
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	12,441
支出 計 (C + D + E)			810,449
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て  
 収支運営ができていた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう 使用後の適宜な  
 清掃への協力を呼びかけ 清潔な環境づくりを努めた

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と一緒に積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握に  
 心掛けた

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者ト、ご意見箱に記入・投稿された意見は  
 改善できる範囲において速やかに対応した

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市城南学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市城南町一丁目5番地3
施設規模	敷地面積：943.99㎡ 建物面積：315.23㎡
指定管理者	名称：岡崎市城南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市城南町一丁目5番地3 代表者：委員代表 内笹井 忠男
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、適切に消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 4月10日 2回目 11月19日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や施設状況の管理に心掛け、円滑な運営と管理ができた。  
 ・利用者からの教唆や意見を取り入れ、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
235	1753	507	6813	147	763						

利用合計	回数	人数
	889	9,329

## (2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との現状報告会議を実施し、使用時の確認、時間調整もし円滑な利用方法に心掛けた。  
連絡帳を設置し状況がわかりやすくした。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入 前年度繰越金	44,167
収入 計 (A + B)			842,167
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	698,861
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	142,552
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	754
支出 計 (C + D + E)			842,167
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、必要用品の購入等に費用を充て収支運営することができた。  
本年度は駐車場門前などに係着費を充て、収支の均衡を図った。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

使用後の適宜な清掃、消毒を呼びかけ清潔な環境づくりに努めた。  
施設内にはりね等し協力を呼びかけた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

連絡帳を設置し ニーズ把握に心掛けた。  
利用者とのコミュニケーションを図り ニーズに心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

意見等に改善できる範囲で対応した。  
利用者との対話により苦情処理に努めた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岡崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市針崎町字フコ1番地2
施設規模	敷地面積：2,115.73㎡ 建物面積：315.43㎡
指定管理者	名称：岡崎市岡崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市針崎町字フコ1番地2 代表者：委員代表 加藤 政幸
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年10月31日 2回目 令和5年2月4日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率を高まるよう心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者への要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
96	1,140	398	4,996	202	1,102	0	0	0	0	0	0
利用合計						回数	人数				
						696	7,238				

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上に心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	62,462
収入 計 (A + B)			860,462
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	553,545
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	230,929
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	75,988
支出 計 (C + D + E)			860,462
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

夕ミの交換を実施して、修繕費を超過した。他の支出内容を精査することで、収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜は清掃への協力をお願いし、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と一緒に積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握に心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はない。利用者とのコミュニケーションを基にして、今後も苦情の少ないよう適正な管理運営を心がけた。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市福岡学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市福岡町字西市仲 41 番地
施設規模	敷地面積： 1,412.41 m <sup>2</sup> 建物面積： 385.06 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市福岡学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市福岡町字西市仲 41 番地 代表者：委員代表 大河内 廣之
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認する
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品は適切に補充する
	防火管理	必要書類を提出して、消防訓練を実施
	消防訓練実施日	1回目 令和4年8月3日 2回目 令和4年8月7日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率を高める
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や州子状況の把握を心掛け、円滑な運用と管理ができた。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
114	996	565	6,890	182	1,284						
利用合計						回数 861		人数 9,170			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記、空き状況をわかりやすくして利用率の向上を心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	685,211
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	74,169
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	38,620
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等、適切に費用をあて運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

施設の機器、利用に関して、わかりやすく記入した書面を作成した。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、ニーズの把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者には、その場で注意を行い理解して頂いた。

令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市上地学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市上地三丁目 32 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,129.67 m <sup>2</sup> 建物面積： 314.58 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市上地学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市上地三丁目 32 番地 1 代表者：委員代表 杉浦 正司
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がつか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、特にトイレは常に清掃をした。
	防火管理	必要書類を提出し、防火訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年6月20日 2回目 令和5年1月16日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるように努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・利用者の要望への対応が適切にできた。
- ・利用者からの書籍の希望が 関いて 適切にできた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
181	1,196	511	5,610	315	2,506						
利用合計						回数		人数			
						1,007		9,312			

## (2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記, 空室状況をわかりやすくした。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	674,400
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	123,600
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理, 書籍 その他の購入費等, 適切に収支運営できた。  
・土前から要望の多かった駐車場の車止の設置ができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・皆さんが気持ちよく利用できるよう, 利用後の清掃など協力してもらった。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者と積極的にコミュニケーションを図り, ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

・現在苦情もなく, 皆さんが心よく利用されている。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市男川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大平町字西上野 84 番地 2
施設規模	敷地面積： 573.73 m <sup>2</sup> 建物面積： 312.48 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市男川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大平町字西上野 84 番地 2 代表者：委員代表 小林 勇
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補給した。
	防火管理	必要書類を提出した。
	消防訓練実施日	1回目 6月 2回目 12月
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望の幅を広げるための交換等を実施し、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
230	1556	204	2638	243	1710						
利用合計						回数		人数			
						677		5904			

## (2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体との定期会議を実施、使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	389,501
収入 計 (A+B)			1,187,501
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	529,552
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	125,400
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	532,746
支出 計 (C+D+E)			1,187,501
差 引			0

(利息6円プラス)

(利息6円プラス)

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と一緒に積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー・ルール違反の利用者にもその場で注意を行い、理解してもらった。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市美合学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岡町字上御給 48 番地
施設規模	敷地面積： 1,200.00 m <sup>2</sup> 建物面積： 314.89 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市美合学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岡町上御給 48 番地 代表者：委員代表 原田 勝可
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	毎週末清掃と同時に見回り異常を確認した。
	通常清掃業務	毎週末清掃を実施し、12月に利用団体と運営委員会で大掃除を実施した。消耗品は在庫を把握し適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 5/12 運営委員会総会にて座学にて実施。届け出漏れ 2回目 12/10 利用団体と合同で消火訓練を実施。届け出あり。
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用団体と適切に利用調整を行い、施設の利用率が低下しないように調整を心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

コロナ禍の中で、利用団体も利用を制限したり、休止したりする中で最開しやすいように状況を把握、利用者からもっと明るくとの要望の多かった図書室の蛍光灯のLED化も2年をかけて交換を実施。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)			
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
24	150	416	4824	221	1508	0	0	0	0		
利用合計				回数				人数			
				661				6482			

## (2) 利用状況に対する自己評価

コロナ禍の中中断・休止する団体もあり、令和5年に入り復活してきたが、利用団体のメンバーの高齢化もあり元に戻るかどうか不安もある。  
利用団体が一目で分かるように利用状況を2ヶ月分掲示し、利用団体に空き状況を分かりやすくし利用率の向上に心掛けた。

## 3 収支状況

### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入・繰り越し金・利息・コピー機使用料金など	158,656
収入 計 (A+B)			956,656
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	656,517
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	124,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	176,139
支出 計 (C+D+E)			956,656
差 引			0

### (2) 収支状況に対する自己評価

図書室の蛍光灯のLED化を2年かけて実施出来、利用者の評判も上々で良かった。維持管理費で草刈り、垣根の剪定等は従来通り出来た。敷地内の樹木の伐採を過去に実施した成果で枯れ葉が極端に減少し大掃除時の量も少なく済み時間短縮となった。

## 4 その他自己評価

### (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用団体会議が出来ず、利用団体へのアピールが出来てなかった駐車場の問題解決が出来ず個々の調整だけで済んでおり5年度は早めに利用団体会議を実施しトラブルが発生させない方法を考えたい。

### (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者のニーズ要望は出来る事は予算の範囲で実施した。図書室の照明LED化は修繕予算をとり2年に分けて実施、利用者には好評だった、2階の窓枠修理も速やかに修理完了させた。

### (3) 苦情対応等に対する自己評価

こどもの家の管理者、利用者との駐車場の問題で2~3回トラブルが発生したが完全な解決案が出来ておらず次年度持ち越しとなってしまった。

(※事業報告書と併せてご提出をお願いします。)



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市緑丘学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市美合町字八ヶ尻 32 番地
施設規模	敷地面積： 643.20㎡ 建物面積： 323.81㎡
指定管理者	名称：岡崎市緑丘学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市美合町字八ヶ尻 32 番地 代表者：委員代表 山本 克彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等による施設に異常がふか確認
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切補充
	防火管理	年に2回実施した。
	消防訓練実施日	1回目 7月 2回目 12月
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

大工事故も起こり、利用者関係もスムーズに運んだ。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
109	938	476	4996	264	1617						
利用合計						回数		人数			
						849		7551			

## (2) 利用状況に対する自己評価

租約の規則にこまかく、利用を果て、団体にはとんとん利用  
していただき、少しでも利用率を高めたい。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	578,000
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	220,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設に修繕費が多く発生。管理費を出来だけ  
節約したい。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が身持ちよく利用できるように、使用後の清掃や団体  
に月2回の便所清掃の対策を実施し清潔な環境づくりをする。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者団体と年2回「利用者会議」を開催して  
ニーズの把握に心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者会議でマナー、ルール違反について注意  
し理解を促した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市生平学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市茅原沢町字上平6番地1
施設規模	敷地面積：719.03㎡ 建物面積：315.46㎡
指定管理者	名称：岡崎市生平学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市茅原沢町字上平6番地1 代表者：委員代表 市川 明
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により異常か否かが確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 4.11.6 2回目 5.2.28
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行っている。
	書類・諸帳簿の管理	適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

今年度は大きな問題もなく、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
49	537	91	651	96	715						
利用合計						回数		人数			
						236		1,903			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。  
空き状況をわかりやすくして、利用してもらうように心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	11,543
収入 計 (A+B)			809,543
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	667,902
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	128,122
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	13,519
支出 計 (C+D+E)			809,543
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

2FのLED化をダウンライトから取り替えられた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

いつでも携帯に質問など受け付け、なるべく素早い対応を心がけた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者とのコミュニケーションを図り、気持ち良く働いて頂けるように心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者の方の半数以上 高齢者の方なので、小さな疑問や、もろもろに対応した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市秦梨学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市秦梨町字平 39 番地 2
施設規模	敷地面積： 862.00 m <sup>2</sup> 建物面積： 218.17 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市秦梨学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市秦梨町字平 39 番地 2 代表者：委員代表 浅井 晴夫
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設の異常を早期に確認しました。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保持。消耗品を随時補充しました。
	防火管理	必要書類を提出しました。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年6月21日 2回目 令和4年12月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適宜の利用調整を行いました。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を整理、管理しました。

(2) 事業実施に対する自己評価

去年度の備用の不都合を生じ、修理をしました。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
124	702	200	1050	0	0						
利用合計						回数		人数			
						524		2052			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用マニュアルを玄関ホードに明記 空き状態をわかりやすくし、お知らせしました。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A+B)			751,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	525,878
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	225,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	422
支出 計 (C+D+E)			751,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の補充、トイレ等の清掃、外回りの草取り、等々をいたしました。

## 4. その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者様からスムーズに使用していただくために、管理者としては、いろいろな事に尽力をしております。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と一緒に積極的にコミュニケーションを図っております。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

無し。(苦情は、ありませんでした。)

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜谷学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桑谷町字一斗目6番地1
施設規模	敷地面積：1,582.21㎡ 建物面積：215.38㎡
指定管理者	名称：岡崎市竜谷学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市桑谷町字一斗目6番地1 代表者：委員代表 太田 道雄
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した。利用者の意見を生かして施設の改善を行った。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。また、適宜草刈り等を行うことにより、周囲環境整備を行った。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。その際には地域の防災訓練との連携を図ることにより行った。
	消防訓練実施日	1回目 9月21日 2回目 12月18日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるように心がけた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望により、道路脇の樹木の選定を行った。また壁紙の張替えを部分的に実施して活動環境を整え、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
70	872	122	1721	229	756						
利用合計						回数		人数			
						421		3349			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかり易くして、利用率の向上を図り、また、地域の活動団体との連携を心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	24,787
収入 計 (A + B)			775,787
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	615,549
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	130,297
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	29,941
支出 計 (C + D + E)			775,787
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

本年度は壁紙の張替えを行ったが、張替え面積を縮小するなど、工夫することによって、収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。とくに新型コロナ対策において、アルコール消毒剤や使用机、椅子などの消毒用としてキッチンペーパー及び雑巾を常備した。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体の一員として活動を行い、参加者から直接意見を聞きつつニーズ把握を心がけた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市藤川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市藤川台三丁目1番8号
施設規模	敷地面積：1,578.10㎡ 建物面積：325.47㎡
指定管理者	名称：岡崎市藤川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市藤川台三丁目1番8号 代表者：委員代表 北里 貞治
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 4.5.9 2回目 4.11.6
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用調整を行い、施設の利用率が高まるように心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望に対して収支状況の把握を心掛けた円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
138	801	133	1503	143	1056						
利用合計						回数		人数			
						414		3360			

## (2) 利用状況に対する自己評価

年間予定表を設置して、利用者の日程が把握しやすくなった。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	335,122
収入 計 (A + B)			1,133,122
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	395,683
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	359,700
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	377,739
支出 計 (C + D + E)			1,133,122
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、フロア対策用の器具を購入することができ、収支運営が  
とができた。  
本年度は外部塗装工事を実施して修繕費を超過したが、  
他の支出内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

コピー機や清掃道具等について利用者が自由に使えるようにした。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者のご意見を聞き、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

改善できる範囲において速やかに対応できた。

## 令和4年度事業報告書

施設名称	岡崎市 山中学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市山綱町字天神2番地1
施設規模	敷地面積 : 877,08㎡ 建物面積 : 315,77㎡
指定管理者	名称 : 岡崎市山中学区市民ホーム運営委員会 所在地 : 岡崎市山綱町字天神2番地1 代表者 : 委員代表 加藤 隆
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施状況

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を的確に確認した。
	防火管理	年1回実施した。
	消防訓練日	1回目 令和4年10月11日 2回目 令和4年11月 6日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

- ・ 利用者から要望の高かった図書室の古い内側カーテン及びカーテンレールを新品に取替え、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和 室		会 議 室		図 書 室		和 室 2		研究 室(大)		研究 室(小)	
回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数						
54	800	360	4,274	100	744						

利 用 合 計		回 数		人 数	
		514		5,818	

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・ 利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況を分かりやすくして、施設の利用率向上に心がけた。
- ・ 運営委員会として利用を公平・公正に行うことができ、利用の促進につながった。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止策として、マスク着用・手指消毒液の使用を来館者にお願いし、実施できた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料 (A)		798, 000
	その他収入 (B)	雑収入	149, 087
収 入 計 ( A + B )			947, 087
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、管理費	578, 754
	修繕費(D)	修繕費 ※ 精査項目	129, 500
	その他(E)	修繕費返還金、当期余剰金等	238, 833
支 出 計 ( C + D + E )			947, 087
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・ 施設の修理、備品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
- ・ 本年度は、トイレ手洗い場水栓を取替を3ヶ所、並びに図書室のカーテン等の改装を行い、修繕費を超過をしたが、収支内容を精査したことにより、収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・ 利用者の皆様が気持ちよく利用できるよう、利用後の適宜な清掃を呼びかけ、環境づくりに務めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・ 利用者ノートを利用して、ニーズ把握に心掛けた。
- ・ 利用者団体との会議を開催して、ニーズ把握に心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・ マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。
- ・ 利用者団体との会議を開催して、苦情対応を行った。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市本宿学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市本宿町字古新田1 1 番地1
施設規模	敷地面積：1,354.89㎡ 建物面積：445.91㎡
指定管理者	名称：岡崎市本宿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市本宿町字古新田1.1.番地1. 代表者：委員代表 冨田 哲也
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 8月28日 2回目 3月14日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調節を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類は提出し、適切に保管している

### (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理が出来た。  
コロナ感染防止の観点から各部屋ごとに消毒の機会を増やし、対策に貢献できたと思う

### 2 施設の利用状況

#### (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
120	942	432	4661	380	1197	48	300	459	4666	0	0

利用合計	回数		人数	
	1,439回		11,766人	

## (2) 利用状況に対する自己評価

事務局としてもドア、手すり等の消毒をこまめに毎日実施し、感染防止に努めた  
利用スケジュールを廊下のボードに明記、空き状況を分かりやすくして利用率の向上を  
図ることができた

利用者の希望が多かったトイレの様式化が市の援助により全て達成できた

## 3 収支状況

### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893000
	その他収入 (B)	雑収入	17527
収入 計 (A+B)			910527
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	770409
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	77700
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	62418
支出 計 (C+D+E)			910527
差 引			0

### (2) 収支状況に対する自己評価

- 施設の修繕、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた
- 本年度もコロナ感染防止の観点から、消毒液の購入や器具の消毒用の雑巾の洗濯費用  
~~516000~~  
等増加傾向にあったが、他の収支内容を精査することで収支の均衡を図ることができた

## 4 その他自己評価

### (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 鍵カバンの定位置化を実施し使用の明確化と使用中の顔出しなどなくなった
- 利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、毎日室内外とも清掃に努め清潔な環境  
づくりに努力した
- 施設の緊急避難時の行動をわかりやすくし、部屋ごとに貼り緊急時に備えた

### (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- コロナにより利用団体の一斉清掃ができなかったため利用後清掃の協力をよびかけた
- 玄関の靴の履き替えように椅子を設置し、安定して履き替えができるようにした
- 利用者と一緒にコミュニケーションを図り、ニーズ把握に心掛けた

### (3) 苦情対応等に対する自己評価

- 今年は寒気にエアコンの故障が相次ぎ事務局に負担をかけたが、早急な対策で  
対応をしていただき、2基を新調し利用者の心配を最小限にできた
- 利用団体との会議を行い要望などを聞き、対策を行っている。清潔で有難いと意見
- 利用者ノートなどによるご意見等は改善できる範囲において速やかに対策をした

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市恵田学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市恵田町字三月ヶ入 76 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,680.11 m <sup>2</sup> 建物面積： 222.11 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市恵田学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市恵田町字三月ヶ入 76 番地 1 代表者：委員代表 柴田 博和
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないが確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月16日 2回目 令和4年11月19日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう必掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
36	228	33	789	75	75						
利用合計						回数			人数		
						144			1092		

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ポーチに明記、空室状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	39,938
収入 計 (A + B)			790,938
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	648,941
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	129,800
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	12,197
支出 計 (C + D + E)			790,938
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションをとり、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、会議、ノート等により利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けた。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市岩津学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岩津町字生平1番地1
施設規模	敷地面積：1,609.93㎡ 建物面積：315.00㎡
指定管理者	名称：岡崎市岩津学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市岩津町字生平1番地1 代表者：委員代表 時々輪 忠正
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和5年2月28日 2回目 令和5年3月20日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

・利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
228	1,376	545	7,305	322	2,217						
利用合計						回数		人数			
						1,095		10,898			

## (2) 利用状況に対する自己評価

・利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			798,000
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	675,300
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	122,700
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	0
支出 計 (C + D + E)			798,000
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

・マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解していただいた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大樹寺学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18
施設規模	敷地面積： 436.41 m <sup>2</sup> 建物面積： 306.39 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市大樹寺学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市鴨田町字田起 64 番地 18 代表者：委員代表 内藤 博彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	室内外を適宜見回り、異常の有無を確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目5月15日 2回目11月26日
施設運営に関する業務	利用関係業務	運用マニュアルを作成し、正しい利用方法を周知した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

予約状況の見える化、コミュニケーションを取る為の掲示板を設置し、利用団体との意思疎通が図れた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
74	532	542	6897	130	1061						
利用合計						回数		人数			
						746		8490			

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・2回/年利用者会議を開催し、利用方法の周知及び利用者からの要望を吸い上げ、改善検討を実施した。
- ・玄関に予約管理ボードを設置し、本格運用を開始。空き状況の確認。予約変更手続きが簡単に出来るようにした。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	170,842
収入 計 (A + B)			968,842
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	792,433
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	138,402
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	38,007
支出 計 (C + D + E)			968,842
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・事務用品購入の際、都度、会計から出金していたが、事前に事務長に事務用品予算額を渡し、スピーディーに対応できるようにした。(事務長管理)

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・床が滑る等、事故発生につながる状態になった時、館内に張り紙にて注意喚起を実施。
- ・利用マニュアルを作成し、誰でも同じ使い方ができるようにした。
- ・掲示板に利用者が自由に使える子ベースを設け、利用者情報を掲載出来るようにした。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者会議に手利用者からの要望を抽出し、運営委員会にて検討し回答を実施。回答率100%

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者ノートを適宜確認し、利用者からの意見を確認している。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市大門学区市民ホーム	
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。	
施設の所在地	岡崎市大門四丁目7番地15	
施設規模	敷地面積：763.11㎡	建物面積：316.63㎡
指定管理者	名称：岡崎市大門学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大門四丁目7番地15 代表者：委員代表 神尾 明幸	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設運営利用の点検、管理防犯学区パトロール隊の巡回箇所指定、
	通常清掃業務	施設を清潔に運営、新型コロナウイルス感染症予防対策に施設内消毒、利用者の感染予防対策。
	防火管理	防火管理は事務長の指導の下、利用者にも防火管理の指導
	消防訓練実施日	①回目 岡崎市消防本部 北分署の協力にて実施、施設利用者も訓練参加 6月・12月
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用者の利用希望も取り入れ運営
	書類・諸帳簿の管理	大門学区会計基準にて管理保管

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の協力も得て運営、順調に施設管理ができました。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
125	1,509	315	4,856	181	1,448						
利用合計						回数		人数			
						621		7,813			

## (2) 利用状況に対する自己評価

コロナウイルス感染症があるため、利用数が減少のなか、  
コロナウイルス感染症予防をしながら、  
充分利用者が気を付け利用していただきました。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	163,052
収入 計 (A+B)			961,052
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	706,850
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	132,000
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	122,202
支出 計 (C+D+E)			961,052
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

コロナウイルス感染症予防しながら、初期の目的達成出来ました。  
市民ホーム利用者より感染者ゼロで運営が出来たこと大変よかった。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

運営に充分満足しています。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

修理費にて市民ホーム和室、畳替えが出来ました。コロナウイルス感染症予防の為、和室に除菌型、空気清浄機を入れ利用者の健康にも気を付け運営をいたしました。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情なし

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市 奥殿学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市奥殿町字石飛61番地2
施設規模	敷地面積：1,610.81㎡ 建物面積：218.69㎡
指定管理者	名称：岡崎市奥殿学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市奥殿町字石飛61番地2 代表者：委員代表 清水 篤実
指定期間	平成3年 4月 1日 ~ 令和8年 3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施内容 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	定期的に施設の内外の見回りをして、異常の有無を点検した。
	通常清掃業務	常に清潔に努めた。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年2回実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年12月4日 2回目 令和5年2月27日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切に利用されることに努めた。
	書類・諸帳簿の管理	諸帳簿は適切に記録し、保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望の対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
26	167	185	2091	25	164						

利用合計	回数	人数
	236	2422

## (2) 利用状況に対する自己評価

運営委員会と利用団体と連絡調整を図り、利用効率の向上に心がけることができた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入 (繰越金・利息)	16,276
収入計 (A+B)			767,276
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	650,473
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	81,400
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	35,403
支出計 (C+D+E)			767,276
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

それぞれの項目について、ほぼ適正かつ有効に支出することができた。修繕費の敷地法面補修については、数年ごとに実施する必要があると思われる。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の方々が気持ちよく利用できるよう、利用後の清掃等の協力を依頼し、清潔な環境づくりをすることができた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者団体と必要に応じ、連絡調整を図り、要望を把握することができた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情は皆無に等しかったが、苦情が出ないように配慮することができた。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市細川学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市細川町字長原 111 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,104.72 m <sup>2</sup> 建物面積： 383.23 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市細川学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市細川町字長原 111 番地 1 代表者：委員代表 近藤 勝男
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	諸団体・地縁団体使用後(最終)見廻りし、異状はつか確認している。
	通常清掃業務	ホール・エレベーターは常に清掃・排膿を確し、消耗品等適切に補充している。
	防火管理	年2回の消防署書類提出実施。
	消防訓練実施日	1回目 9月6日 2回目 9月28日
施設運営に関する業務	利用関係業務	各諸団体・地縁団体利用者にご利用調整及び理解活動推進した。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を作成、ことごとく家と項目を分けて保管し、必要書類は提出対応した。

(2) 事業実施に対する自己評価

(利用者要望で、会議室A机和室天井クロス、カーテン張り替も策) 池出来、収支状況も入掛け運営と管理が出来た。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
251	1805	742	9007	49	876	68	860	/	/	/	/
利用合計				回数				人数			
				1,110 /				11,878 /			

## (2) 利用状況に対する自己評価

毎月の空き状況が分かりやすくボードに指示し、利用者にも利用状況が分かるようにし、利用率の向上に心がけた。  
(利用者には、早めの変更内容等を知らせる)

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	507,884
収入 計 (A+B)			1,305,884
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	521,907
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	169,210
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	644,704
支出 計 (C+D+E)			1,305,884
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、会議室の机、和室の天井クロス、カーテンの修理に活用し適切に費用を充て収支運営が出来る。  
(今年は会議室の扇風機を交換(修理)したい)

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の使用後等が、清掃、諸団体の代表にフレンドリーな気持ち長く利用してもらう様に、清掃に心がけた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

施設の備品、修理購入費用に充て、利用者の要望に対応  
(利用者が何人でも言いつつ個別対応)

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

大きなクレームはないが、利用者には、事前の変更日時、使用状況を知らせ、諸団体、地域団体の理解を今以上に推進する。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作東学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市矢作町字加護畑 65 番地 1
施設規模	敷地面積： 865.66 m <sup>2</sup> 建物面積： 357.89 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市矢作東学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市矢作町字加護畑 65 番地 1 代表者：委員代表 三浦 徳雄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した設備（給湯器、ライト、机・椅子等）の保守を実施した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した館内外の大掃除を実施した（年2回夏・冬）
	防火管理	夏、冬の年2回計画し必要書類を提出し実施
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月31日 2回目 令和4年12月4日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用団体の要望や設備の不具合箇所への対応に心掛け、円滑な運営と管理ができた。  
コロナ禍における自粛制限や消毒液設置を実施し、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
511	3673	449	5580	101	876						
利用合計						回数		人数			
						1,061		10,129			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用団体代表者会議を開催し、施設や運営について苦情・要望を聞くことができた。  
また、利用スケジュールを玄関近くの壁面で掲示、常に空き状況をわかるように心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	12
収入 計 (A + B)			798,012
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	460,489
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	120,670
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	216,853
支出 計 (C + D + E)			798,012
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

利用団体からの大きな要望がなく支出を抑えることができたので、余剰金を出すことができてよかった。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・ 2F の集会室および図書室の照明を替え明るくなり気持ちよく利用しやすくなった
- ・ 避難訓練で実際に避難梯子を使い、防火管理者から説明を受けた

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体代表者会議で要望を聞き、利用者ニーズの把握に努めることができた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

2F 集会室の踏台へ上がった時にでる異音（ギーギー音）を解消するため台の裏側をしっかりと補強した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作北学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字牛転 35 番地....
施設規模	敷地面積：1,167.05 m <sup>2</sup> 建物面積：466.32 m <sup>2</sup>
指定管理者	名 称：岡崎市矢作北学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市橋目町字牛転 35 番地 代表者：委員代表 伊奥田 一巳....
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要な書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年7月24日 2回目 令和5年2月25日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

・利用者への要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
192	2,405	477	6,150	108	593	67	611	379	3,434	154	1,174

利用合計	回数	人数
	1,377	14,367

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関に貼付。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	37,127
収入 計 (A + B)			930,127
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	542,739
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	269,286
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	118,102
支出 計 (C + D + E)			930,127
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

施設や機器の利用に関して、わかりやすく記入した書面を作成した。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者との積極的なコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー・ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解して頂いた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市北野学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニケーション活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字家下1番地1
施設規模	敷地面積：1,048.00㎡ 建物面積：319.66㎡
指定管理者	名称：岡崎市北野学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市橋目町家下1番地1 代表者：委員代表 渡辺 茂
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1.事業の実施状況

## (1) 実施状況

業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設を見回り問題点、異常の無い事を確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品は適切に補充した。
	防火管理	必要書類の提出し、避難訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年 6月4日(土) 2回目 令和4年12月3日(土)
施設運営に関する業務	利用関係業務	予定表を表示し適切に利用調整を行い、利用者が効率的に使用できるように心がけた。
	書類 諸帳簿の管理	必要書類を期日までに提出し、適切に保管した。

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者からの要望に適切に対処（和室の開き戸の取り換え、故障時計の取り換え、会議室等の蛍光灯の取り換え、コロナ対応のアルコール液の設置等

## 2.施設の利用状況

## (1) 利用状況

和 室		会 議 室		図 書 室	
回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数
373	2,914	391	4,884	267	1,540

利 用 回 数	回 数	人 数
	1,031	9,338

(2) 利用状況に対する自己評価

各団体の利用者を予約表に記載し玄関ロビーに表示し、各部屋の空き状況を明確にしたことで、不定期利用者の利用率の向上を図った。又学区の総会、実行委員会等についても、譲り合いの精神で効率よく各部屋の使用を実施した。

3.収支状況

(1) 収支状況

	項目	内訳	決済額(円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798000円
	その他収入 (B)	前年繰越金	31,156円
収入 計 (A+B)			829,158円
2 支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	514,815円
	修繕費 (D)	修繕費	147,400円
	その他 (E)	繰越金	166,943円
支出 計			829,158円
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入に関して適切に費用を充て収支運営をすることが出来た。本年度は和室の納戸の扉に取り換え、2Fのベランダ網戸の張替えを実施し修繕費を充て超過したが、他の支出を精査することにより均等化を図ることが出来た。また、繰越金は次年度LED化を実施する費用に充てる。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者さまが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃の協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。日、土曜日にPTA様の協力で市民ホーム清掃を実施市民ホームへwifi設備を導入し、利用者の利便を図った。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用記録表に要望事項、不具合状況を記入してもらい、適切に修理等を実施した。絶えず利用者とのコミュニケーションを行いニーズ把握、こちらからの要望を伝えた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

ご意見等内容を把握し改善できる点は速やかに実施、無理な点は説明し理解を得た。  
ルール違反、マナー違反者に対しては毅然とした対応を行った。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作南学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大和町字西島57番地1
施設規模	敷地面積：938.16㎡ 建物面積：481.32㎡
指定管理者	名称：岡崎市矢作南学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市大和町字西島57番地1 代表者：委員代表 江坂 進
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年5月20日 2回目 令和4年11月25日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
87	995	504	4,995			13	107	190	3,265	160	886

利用合計	回数		人数	
		954		10,248

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記。空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	184,898
収入 計 (A + B)			1,077,898
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	698,674
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	176,650
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	202,574
支出 計 (C + D + E)			1,077,898
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

本年度は会議室の換気扇取替や網戸張替え等を実施して修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより支出の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

ご意見箱を設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、ご意見箱の設置等により利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市下青野町字井戸尻 87 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,549.00 m <sup>2</sup> 建物面積： 422.00 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美中部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市下青野町字井戸尻 87 番地 1 代表者：委員代表 太田 紀彦
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により、施設に異常がないか確認した
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を年2回実施した
	消防訓練実施日	1回目：令和4年 11月7日 2回目：令和4年 12月11日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、実施の利用率が高まるよう心掛けた
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や支出状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
190	2698	573	6754			116	990	282	2557		

利用合計	回数	人数
	1,161	12,999

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールをホワイトボードに明記した。  
空き状況を分かりやすくして、利用率の向上に心掛けた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	35579
収入 計 (A + B)			928,579
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	733,865
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	164,340
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	30,374
支出 計 (C + D + E)			928,579
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように、清潔な環境作りに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情があれば、速やかに対応した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市井内町字風見7番地3
施設規模	敷地面積：706.48㎡ 建物面積：318.08㎡
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美北部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市井内町字風見7番地3 代表者：委員代表 村越 敏行
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がかなか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した
	消防訓練実施日	1回目 令和4年4月2日 2回目 令和4年9月17日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握を心がけ、円滑な運営と管理ができた。

### 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
226	1,794	707	10,891	291	1,651						
利用合計						回数 1,224		人数 14,336			

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記して、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心がけた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	273,670
収入 計 (A + B)			1,071,670
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	563,387
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	431,507
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	76,776
支出 計 (C + D + E)			1,071,670
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、事務用品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。自分たちでできる修理等は業者に頼らず自前で行ったため予算は超過したが、他の収支内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、施設や備品の利用に関して、わかりやすく表記した書面を作成し掲示をした。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

マナー、ルール違反の利用者にその場で注意を行い、理解をいただいた。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市赤浜町字道本 23 番地 1
施設規模	敷地面積：1,328.00 m <sup>2</sup> 建物面積：314.70 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美西部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市赤浜町字道本 23 番地 1 代表者：委員代表 山田 英一
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないかを確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	火元責任者の表示を各部屋入口に添付した。 必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 令和5年2月19日 2回目 令和5年3月19日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

### (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や、収支状況の把握を心掛け、円滑な運営と管理ができた。  
利用者の高齢化に伴い、和室に椅子導入の要望があり、実施した。

### 2 施設の利用状況

#### (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
98	898	719	8337	193	2034						
利用合計						回数		人数			
						1,010		11,269			

## (2) 利用状況に対する自己評価

- ・運営委員会と利用団体との定期会議を実施し、使用日時の確認に加え、時間調整も実施して、利用率の向上を心掛けた。
- ・利用スケジュールを玄関のホワイトボードに明記し、空き状況をわかりやすくして、利用率の向上を心掛けた。

## 3 収支状況

### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798,000
	その他収入 (B)	雑収入	125,468
収入 計 (A+B)			923,468
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	562,474
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	167,670
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	193,324
支出 計 (C+D+E)			923,468
差 引			0

### (2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、事務用品の購入等に、適切に費用を充て収支運営することができた。
- ・本年度は、外灯電気設備改修工事、掃除機のホース取り換え、誘導灯・事務室・特別トイレのLED化を実施し、修繕費が超過した。

## 4 その他自己評価

### (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の適切な清掃への協力を呼びかけ、毎朝パブリックスペースの清掃等、清潔な環境づくりに務めた。
- ・合言葉「利用する前よりもきれいにして帰る。」

### (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・ご意見箱を設置してニーズ把握を心掛けた。
- ・利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

### (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・今のところ苦情はないが、会議・ご意見箱の設置等により、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないように適正な管理運営を心掛けたい。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市中島東町二丁目5番地1
施設規模	敷地面積：417,00㎡ 建物面積：315,46㎡
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美南部学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市中島東町二丁目5番地1 代表者：委員代表 柰屋 和由
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

#### (1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設内外に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔状態を保ち、消耗品等を適宜補充した。 その他、コロナ対策に心掛けた。
	防火管理	年間計画に基づき必要書類を提出し、消防訓練及び防災訓練(起震車体験)を実施した。
	消防訓練実施日	1回目：令和4年8月28日(日) 2回目：令和4年12月25日(日)
施設運営に関する業務	利用関係業務	公的団体の年間予約を実施した上で、適切な利用予約調整実施し、施設の利用率向上に努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管

#### (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望の迅速な対応及び収支状況の把握を心掛け、年度内及び中期修繕計画に基づく予算執行に努めた。

### 2 施設の利用状況

#### (1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
146	1227	631	5679	190	1339						
利用合計						回数		人数			
						967		8,245			

## (2) 利用状況に対する自己評価

予約状況を、利用予約簿及びボードに明記して、空き状況がわかり易くし、利用率向上に努めた。  
隣接六ツ美南保育園と情報共有に努め、駐車場の混雑回避に努めた

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		798, 000
	その他収入 (B)	雑収入	120, 922
収入 計 (A + B)			918, 922
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	617, 251
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	124, 597
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	177, 074
支出 計 (C + D + E)			918, 922
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

- ・コピー機の故障を踏まえて予算配分を支障の無い範囲でコントロールできた
- ・消耗品、事務用品等を適切に費用充て収支運営ができた
- ・トイレの修繕計画を見直した上で、本年度計画分を実施できた  
又、次年度実施予定分の繰り越し金を確保できた

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・コロナ禍対応に細心の配慮をし、安心安全な環境維持が出来た
- ・市施工のトイレ工事中の安全管理に協力をした上で、工事の早期終了をお願いし利用者の利便に努めた

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者の積極的なコミュニケーションに努め、ニーズの把握に努めた

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・無断駐車車両を昼夜パトロールの上、排除に努めた
- ・ルール違反があった場合極力当日中に改善勧告を行った

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市豊富学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市榎山町字山ノ神 10 番地 1
施設規模	敷地面積： 1,450.00 m <sup>2</sup> 建物面積： 718.16 m <sup>2</sup>
指定管理者	名称：岡崎市豊富学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市榎山町字山ノ神 10 番地 1 代表者：委員代表 鈴木 勝彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

(1) 実施状況 業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回り等により施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を適切に補充した。
	防火管理	自主点検表による確認を行った。
	消防訓練実施日	1回目 令和4年6月8日 2回目 令和5年1月5日
施設運営に関する業務	利用関係業務	年間の利用予定表を作成し、都度の利用希望に対して、適切に調整を行い、利用効率が高まるよう努めた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

(2) 事業実施に対する自己評価

利用者から要望のあった中会議室と小会議室の間仕切り改修並びに経年劣化の会議用机のキラスター交換を行い、円滑な運営と管理ができた。

## 2 施設の利用状況

(1) 利用状況

和室		会議室		図書室		和室2		研修室(大)		研修室(小)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
151	998	760	8696								
利用合計						回数		人数			
						911		9694			

## (2) 利用状況に対する自己評価

年間の利用スケジュールを利用団体へ提供するとともに玄関カウソウへも常備し、新規・随時の利用希望者にも分かりやすく、適切に対応した。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		893,000
	その他収入 (B)	雑収入	171,078
収入 計 (A+B)			1,064,078
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	734,030
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	234,080
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	95,968
支出 計 (C+D+E)			1,064,078
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

本年度は修繕費の大幅超過を想定していたので、他の支出内容を精査することにより、管理料の範囲内で、健全な収支運営ができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

他利用者への思いやりを合言葉に、運営委員の輪番による月2回の清掃当番の実施と利用後の部屋・トイレの清掃点検と呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

事務長へのアドバイス箱の設置、利用者との対話を通じてニーズの把握を心掛け、対応できる範囲で改善等をした。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はないが、ホーム単体で解決できない意見要望等は、情報提供として管割部署へ連絡するなど適切に対応している。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市宮崎学区市民ホーム
施設の設置目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市宮崎町字亀穴33番地
施設規模	敷地面積：1,036.24㎡ 建物面積：275.62㎡
指定管理者	名称：岡崎市宮崎学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市宮崎町字亀穴33番地 代表者：委員代表 竹下 正昭
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

### 1 事業の実施状況

#### (1) 実施状況

業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	施設が適正に利用されているか、巡回見回りをし異常の有無を点検確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保つよう定期的に清掃を実施。また、関係する消耗品を適切に補充した。
	防火管理	必要書類を提出し、消防訓練を実施した。
	防火訓練実施日	1回目 令和4年10月19日 2回目 令和5年3月16日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、施設の利用率が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管管理している。

#### (2) 事業実施に対する自己評価

利用者・利用団体の要望への対応や、収支状況の把握に心掛け、円滑な管理運営ができた。

### 2 施設の利用状況

#### (1) 利用状況

和室		中会議室		図書室		和室2		大会議室		小会議室	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
		163	1,320					352	4,712	32	161

利用合計	回数	人数
	547	6,193

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・利用スケジュールを玄関のボードに明示した。
- ・空き状況を判りやすく開示し、利用率の向上を心掛けた。
- ・本年度も、コロナ禍でありましたが、コロナ対策としてとして消毒液を準備し手の消毒、マスク着用、3蜜防止をお願いし協力してもらえた。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	319,964
収入 計 (A + B)			1,070,964
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	422,464
	修繕費 (D)	修繕費 ※精算項目	0
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	648,500
支出 計 (C + D + E)			1,070,964
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・人件費、事務費、管理費は適正に収支運営することができた。
- ・コピー機に係るランニングコストが高いため、プリンターを設置し経費の節約に努めている。
- ・施設が新しく、利用者が大切に使用しているため修繕費の発生はない。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者の皆さんが気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃が習慣化できるよう協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
- ・不審者対策等の強化のため、夜間における市民ホーム利用中に玄関を施錠し、呼び出しチャイムを設置したことで、安心して夜間の利用ができる環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者ノートを設置して、利用者のニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用者からの要望・苦情等には、その都度現地にて実情を把握し、改善できる範囲に於いて速やかに対応した。

## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市 形埜学区市民ホーム
施設の設定目的、役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桜形町字福塚3番地
施設規模	敷地面積：2,570.47㎡ 建物面積：299.58㎡
指定管理者	名称：岡崎市形埜学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市桜形町字福塚3番地 代表者：委員代表 荻野 保夫
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

## (1) 実施状況

業務期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	見回りをして施設に異常がないか確認した。
	通常清掃業務	常に清潔な状態を保ち、消耗品を補充した。
	防火管理	通報訓練・防災訓練を実施した。
	消防訓練実施日	1回目 11月28日 2回目 12月21日
施設運営に関する業務	利用関係業務	適切な利用調整を行い、利用が高まるよう心掛けた。
	書類・諸帳簿の管理	必要書類を提出し、適切に保管している。

## (2) 事業実施に対する自己評価

利用者の要望への対応や収支状況の把握に心掛け、円滑な運営・管理ができた。

## 2 施設の利用状況

## (1) 利用状況

和室		大会議室		図書室		和室2		研修室(2,3)		研修室(1)	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
		249	2578					65	379	131	1192

利用合計	回数	人数
	445	4149

## (2) 利用状況に対する自己評価

利用スケジュールを玄関ボードに明記、空き状況をわかりやすくして利用の向上に努めた。

## 3 収支状況

## (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		751,000
	その他収入 (B)	雑収入	177,123
収入 計 (A+B)			928,123
支 出	管理運営費 (C)	人件費、管理費	632,950
	修繕費(D)	修繕費 ※精算項目	101,200
	その他 (E)	修繕費返還金、繰越金等	193,973
支出 計 (C+D+E)			928,123
差 引			0

## (2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理・事務用品の購入等に適切に費用を当て、収支運営することができた。

## 4 その他自己評価

## (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう使用後の清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

## (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

## (3) 苦情対応等に対する自己評価

今のところ苦情はない。  
今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。



## 令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市下山学区市民ホーム
施設の設置目的 役割	学区住民のコミュニティ活動と自主的な文化活動の推進を図ることを目的とする。
施設の所在地	岡崎市保久町字中村 72 番地 1
施設規模	敷地面積：1,241.21m <sup>2</sup> 建物面積：254.07m <sup>2</sup>
指定管理者	名 称：岡崎市下山学区市民ホーム運営委員会 所在地：岡崎市保久町字中村 72 番地 1 代表者：委員代表 遠山 正
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

## 1 事業の実施状況

実施状況

業務機関：令和4年4月1日～令和5年3月31日

業務内容	実施内容	
施設管理に関する業務	通常保守管理業務	事務長による施設の保守点検の実施者による保守管理
	通常清掃業務	事務長による 学区内老人クラブへ業務委託
	防火管理	防火管理者（事務長）による施設内防火管理業務並びに防災訓練の実施（3/25実施）
施設運営に関する業務	利用関係業務	利用者は利用簿（備付）に記入 <sup>10/31</sup> 年間利用予定の管理（事務長）
	書類・諸帳簿の管理	事務長により管理

## (2) 事業実施に対する自己評価

施設が利用できなくなるような事態にはならず、施設の環境保持は良好である。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、受付に消毒液を置き、感染対策を行った。

## 2 施設の利用状況

### (1) 利用状況

	和室 (山側2間)		会議室 (大広間)		図書室 (山側会議室)		計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	17	118	1	7	18	125
5月	0	0	10	56	0	0	10	56
6月	0	0	12	68	0	0	12	68
7月	0	0	12	77	0	0	12	77
8月	0	0	10	78	0	0	10	78
9月	0	0	9	70	0	0	9	70
10月	0	0	13	60	0	0	13	60
11月	0	0	18	109	0	0	18	109
12月	0	0	10	43	0	0	10	43
1月	0	0	10	73	0	0	10	73
2月	0	0	9	61	0	0	9	61
3月	0	0	14	75	2	8	16	83
計	0	0	144	888	3	15	147	903

### (2) 利用状況に対する自己評価

月毎の利用予定を事務室掲示板並びに、事務長宅備え付けの利用予定表にて施設利用希望者並びに利用予定の迅速な受け入れを心がけた。

### 3 収支状況

#### (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		751,000-
	その他収入(B)	雑収入	3-
収入 計(A+B)			751,003-
支 出	管理運営費(C)	人件費,管理費	478,337-
	修繕費(D)	修繕費 ※清算項目	93,940-
	その他(E)	修繕費返還金、繰越金等	178,726-
支出 計(C+D+E)			751,003-
差 引			0-

#### (2) 収支状況に対する自己評価

コピー機を入れ替えたため、管理費の殆どをコピー機のリース料及びメンテナンスチャージの維持のため支出したが、その他施設維持管理に必要な経費の支弁をすることができた。

修繕費について…和室（山側の2間）の襖の張り替えを実施。

### 4 その他自己評価

#### (1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者の要望する物品の購入をはじめ、施設利用管理も滞りなくできている。

#### (2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

人口の少ない学区であるが故に、利用者と事務長間でのコンセンサス保持に努めていることから利用者からのニーズは迅速に把握する環境を整えることができている。

#### (3) 苦情対応等に対する自己評価

苦情は見受けられないため、特になし。